全校集会あいさつ

皆さん、おはようございます。４月に本校に着任しました校長の稲葉　剛です。よろしくお願いします。本来、今日は畷高生全員が一堂に会して学校再開の式典を行いたいところですが、感染防止のため、それが叶いません。放送で私から話をしますので、よく聞いてください。

今朝、全校生徒が一斉に元気に登校してくる姿を見て、私たち教職員一同本当に安心しました。生徒全員と一緒に授業を作っていくことができる、一緒に部活動ができる、新たな第一歩を踏み出せると改めて感じました。

さて、まずは１年生の皆さん、皆さんは入学式も中止になり、中学校を卒業してから不安定な状況に置かれ随分心配だったと思います。今日、初めて１年生全員が揃ったので、改めて入学許可宣言を放送で行いたいと思います。１年生の皆さん、準備はいいですか？

（入学許可宣言）

「令和２年度　大阪府立四條畷高等学校　文理学科　第１学年に 75 期生 360 名の入学を許可します」

おめでとう！

皆さんが難関を突破して本校に入学したことを、在校生、教職員一同大いに祝福します。

２、３年生の皆さん、先生方、1 年生の教室に届くように大きな祝福の拍手をお願いします。

1 年生の皆さん、拍手が届きましたか。

２，３年生の皆さん、ありがとうございました。

縄高プライドを大切にして今日からの高校生活で自分を磨いてください。２，３年生の皆さんは、良き先輩として１年生にその背中をしっかり見せて導いてあげてください。

さて、学校の本格的な再開に当たり、私から皆さんに伝えたいことが２つあります。

まずひとつは、「前を向く」ということです。新型コロナウィルスの影響で、友達と切磋琢磨し、勉学に勤しみ、部活動に励み、行事に取り組むといった皆さんのかけがえのない高校生活が失われてしまいました。特に３年生は、今まで取り組んできた部活動の集大成である大会などの晴れの舞台が中止になり、目標が失われました。それは多くの皆さんが高校生活を賭けてきたものだったと思います。先日、地域の方から本校の硬式野球部に一通の手紙が届きました。その内容は、硬式野球部の皆さんの元気な声、全力疾走、一生懸命な姿勢にいつも元気をもらっていました。「本当にありがとう」という感謝の手紙でした。私も読んで胸が一杯になりました。人は結果よりもその過程を見て感動します。部活動に励んできた皆さんがこれまで仲間と一緒に行ってきた努力はけっして色あせることはありません。胸を張ってください。今までの自分の努力に誇りを持ち、これまで一緒に頑張ってきた友人や後輩、支えてくれた家族や先生に感謝をしてください。「高校生活はゴールではありません。

前を向いてください。新たな一歩を踏みだしてください。」すでに多くの人が前を向いて頑張っていると思います。しかし、それでもまだなかなか前を向くことができない人、その人は一人で抱えたままにせず、担任の先生や顧問の先生に相談してください。少しは気持ちが楽になって前を向けるはずです。そして、１、２年生の皆さん、特に２年生は部活動の中心として、３年生の思いを引き継いで、それを実現できるように頑張ってください。

２つ目に伝えたいことは「学ぶことの意味」です。私は、本来、学びは自分の人生を豊かにし、社会に役立つためにあると思っています。しかし、今回の新型コロナウィルスの感染拡大は、普段の日常生活のありがたさ、私たちの生活を支えてくれている人たちへの感謝の気持ち、偏見や差別などの人間の弱さ、様々なことを私たちに教えてくれました。そして、この間、多くの組織で様々な意思決定が行われてきました。意思決定は判断と決断によって下されます。ある大学の先生は、判断とは過去に対して客観的に評価すること、決断とは未来に対して主観的に方向性を打ち出すことだと定義しています。そして、その決断を下しその結果責任を負うのがリーダーです。皆さんには、将来リーダーになれる資質があります。しかし、そのためには学びを大切にし、経験を積まなければなりません。学問は社会に役立ってこそ価値があります。自分の人生を豊かにするため、社会に役立つため、そして勇気をもって決断できるリーダーになれるよう、皆さんには学んでほしいと思います。皆さんには無限の可能性があります。私たち教職員も皆さんの可能性を少しでも引き出し、伸ばすことができるよう全力でサポートしていきます。一緒に頑張りましょう。

最後に、今後の行事予定などについて、３点連絡があります。

まず、これからの学校生活ですが、マスクの着用や手洗いの励行等によって、しっかり自分の健康管理をしてください。詳しくはあとで保健室から諸注意があります。

次に授業についてですが、この臨時休業によって約２か月が失われました。そのため、夏休みと冬休みは例年よりかなり短くなること、土曜日の授業が増えることを覚悟しておいてください。

３つめです。行事も今までと同じ形ではなかなかできません。実施できない行事も出てくると思います。しかし、私たち教職員は、行事は皆さんが仲間とともに成長する大切な機会だと思っています。皆さんの意見を聞きながら、形を変えながらでも実施できないかを前向きに考えたいと思っています。皆さんも協力してください。

では、皆さん、今日からみんなで力を合わせて新しい一歩を踏み出していきましょう。

以上であいさつを終わります。